

生き生き

NO. 77 平成22年6月号

岡崎市現職研修生活科広報部発行

「自分自身への気付き」を深める振り返りの活動

生活科部長 増 澤 徹

「この中には何が入っているでしょう。」
『あきのたからもの』と書かれた箱を持って登場したA先生の問いかけから授業は始まった。子供たちはこれまでの活動を思い出しながら、「はり絵」、「リース」、「冠」などと、次々に発言。A先生はその都度、活動の足跡をまとめた教室掲示を使って、子供たちと会話を交わしながら活動を振り返る。そして、B男が「どんぐり」と言うと、箱の中からやじろべえを取り出して、一言「みんないろんなことができるようになったよね」。この言葉をきっかけに、「鼻でもできるよ」「目の上でも」「指をどんどん代えられるよ」と、子供たちが次々に前に出て得意技を披露。実演を通して技の進歩やお互いのよさを認め合い、賞賛し合った。このようにして秋の楽しさを振り返った後、それを、手紙、紙芝居、絵本、カルタ、カードなど、多様な方法で他の人に伝える活動へと進んでいった。



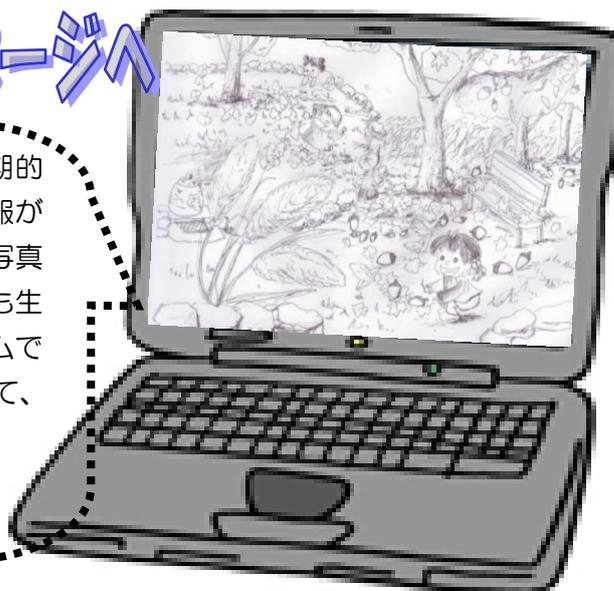
これは、以前参観した1年単元「あきとなかよし」の授業の一コマである。自然と触れ合いながら秋のたからものを作ったり、友達と一緒に遊んだりして十分に楽しんだ子供たちが、活動の振り返りを通して、やり遂げた自信を持ち、自分ができるようになったことを自覚し、成長を実感することができた。

新指導要領が来年度完全実施される。生活科の改訂点の一つに、学年目標の見直しがある。従来三つであった目標が、新たに自分自身に関する目標を加え四つになった。これは、子供たちが身近な人々、社会、自然と直接かかわる中で、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって毎日の生活を送ることができるようにすることをより一層重視しているからである。

子供たちは、生活科の学習を通して様々なことができるようになったり、自分のよさを発揮したりしているのに、気付いていない場合が多い。それを価値付け、自覚させるためには、前述したような振り返りの活動を設けることが必要である。その際、振り返りやすいように、教室掲示の工夫、実際に使ったり作ったりした具体物の準備、多様な方法による表現活動等を行いたい。そして何よりも教師が一人一人の子供を的確にとらえておき、タイムリーに賞賛し価値付けていくことが重要である。各学校で振り返りの活動を通して「自分自身への気付き」を深めていくことを期待している。

ようこそ！生活科のホームページへ

OKリンクにある生活科のホームページを定期的に見ていただくと、生活科に関するいろいろな情報が手に入ります。トップページには、各校の実践を写真入りで紹介するブログを掲載しています。今年度も生活科主任の先生方のご協力によって、リアルタイムで最新の実践を紹介します。それぞれの実践について、気付きの質を高める手立ても具体的に載せます。ぜひ、ご覧ください。



生活科のホームページ OKリンクから「現職研修委員会」の「生活・総合」のページをクリックします。トップページのブログのほかに、生活科部会の重点目標、活動計画、部報、生活科の具体的な視点や年間指導計画作成上の要点なども載っています。

トップページ掲載計画

期 間	掲 載 校	期 間	掲 載 校
6月 9日～	宮崎小	10月 29日～	大樹寺小
6月 30日～	岡崎小	11月 17日～	梅園小・六西小
7月 14日～	北野小	12月 8日～	広幡小
8月 11日～	授業力アップセミナー	1月 26日～	上地小
9月 8日～	教育研究大会	3月 9日～	ワンポイント実践記録
10月 6日～	小豆坂小		

授業力アップセミナー基礎編のご案内

- ◆日時 **8月4日(水)**
9:00～12:30
- ◆場所 **ぬかた会館**
※自然に囲まれた涼しい所です
- ◆内容
 - ・授業実践報告
 - ・パネルディスカッション
 - ・講師の先生の指導と講話
- ◆講師

愛知教育大学 教授
野田 敦敬 先生



指導案を収集しています！

生活科部会では、市内の先生方が実践された過去10年間の生活科の指導案をファイルしています。どんな指導案が収集されているか知りたい方は、「生活科ホームページ」の「収集指導案」をご覧ください。直接、指導案保管校の先生に電話で連絡していただければと思います。指導案は1週間借りることができます。ぜひご利用ください。

【保管校】

緑丘小学校 高村 直子先生 51-5693
竜美丘小学校 鈴木 由佳先生 52-1275